

リー・シルバーマン療法
Lee Silverman Voice Treatment
LSVT®BIG



パーキンソン病患者さんに対する
新しいリハビリプログラム

最近

こんな症状に困ってないですか？

- 歩幅が小さくなったと言われる
- 立ち上がって最初の一步がなかなか出ない
- ボタンを留めるのに時間がかかる
- 自分の書いた文字が小さくて読みづらい

LSVT®BIGは、このような症状に対する
動作の大きさに焦点を当てた治療プログラムです

パーキンソン病の主な症状

手の震え
(安静時振戦)

筋肉が硬くなる
(固縮)

姿勢の
不安定性

動きの遅さ
(動作緩慢)

動作の大きさの低下
(運動機能低下)



LSVT®BIGは、動作の大きさの低下と動きの遅さを
治療のターゲットとしています

LSVTとは・・・

Lee Silverman Voice Treatment



米国のRamingらが開発した
パーキンソン病に特化したリハビリプログラム！

LSVT®LOUD

パーキンソン病の
発話障害に対する治療法

LSVT®BIG

パーキンソン病の
運動障害に対する治療法

当院では、理学療法士によるBIGが受けられます

LSVT®BIGとは・・・



LSVT®BIG認定セラピストとの1対1の個別訓練を
1回60分、週4回連続、4週間にわたって実施する

※訓練時間は相談可能

パーキンソン病の軽度～中等度の方に対して
特に効果的、短期的には高い治療効果が期待できる

LSVT®BIGの内容

- 身体全体を大きく使った動きを反復回数行う
- 日常動作や歩行が大きく行えるように繰り返し練習する

例：床から天井運動



LSVT®BIGの内容の詳細

最大日常課題

- 1.床から天井 – 8回
- 2.側方から側方 – 左右各8回
- 3.前方へのステップ – 左右各8回
- 4.側方へのステップ – 左右各8回
- 5.後方へのステップ – 左右各8回
- 6.前方への揺れ動きとリーチ
左右各10 回(最大20回まで)
- 7.側方への揺れ動きとリーチ
左右各10 回(最大20回まで)

大きな歩行法

大きな歩幅と腕の振りを意識

機能的要素課題 (例)

5つの毎日の課題：各5回

- 椅子からの立ち上がり
- ポケットから鍵を取り出す
- 携帯電話を開く
- 浴槽をまたぐ

階層的課題 (例)

患者さん毎に異なる課題：

- ベッドから起きあがる
- ゴルフをする

(4週間かけて徐々に複雑化する)

LSVT®BIGの治療目標



大きな動きを集中的に訓練することで、動きの遅さや動作の大きさに代表される運動障害を改善する

運動の適切な大きさを認識・修正する能力を改善する
正常と感じている「小さい動作」を、大きいと感じる「正常な動作」へと改善する

LSVT®BIGの最終目標は

日常生活で大きな動作が行えるようになること！

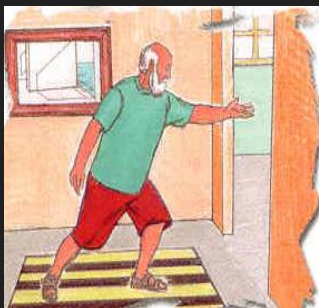
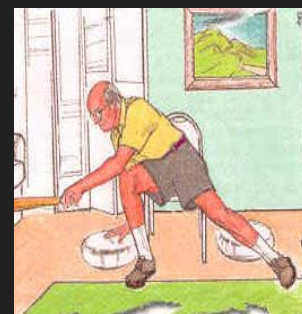
注意事項



- LSVT®BIGは4週間、週4日連続で訓練を行う必要があります、当院の場合は通院が必要となりますので、必ず交通手段の確保をお願いします
- 訓練期間中は、毎日の課題も義務付けられますので、何より本人の強い意志が必要となります
- 一旦プログラムを開始されても、患者さんの意思により途中でやめることも出来ます
- 大きな動きで訓練を行いますので、関節痛や筋肉痛などの症状を伴うことがあります

4週間の訓練を終えた人の感想

LSVTは楽しかった。全然違う。
(大きく) 意識すれば足がすくまなくなった。



大きく歩けるようになったとほんとに思う。
体力もついた。

換気扇のスイッチになかなか手が届かなかった
のが届くようになった！



ぜひ受けてみてください！

- LSVT®BIGを受けてみたいという方は、当院まで問い合わせをお願いします
- 当院通院中の方であれば、気軽にスタッフに声をかけてください
- 仕事をされている方は、夕方（17:00）からでもご予約がお取りできます

まずはお気軽にお問合せください！

TEL：0859-30-2000 担当：秦（はた）
まで★

